

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。

設問部分に「記」とあるものは記述式問題、「マ」とあるものはマークシート問題です。マークシート問題・記述式問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。

それぞれ所定の用紙・箇所解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを、送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。

記1 患者の要望を無下に斥けるわけにはいかない。

記2 厳しい現実を前にして腰砕けになつてしまった。

記3 療養のため環境のいい宿泊地に逗留する。

記4 他人を無知蒙昧呼ばわりしてはならない。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ1 蔑む〔さげすむ〕

マ2 羨む〔うらやむ〕

マ3 会得〔かいとく〕

マ4 遊説〔ゆうせつ〕

マ5 時期尚早〔じきなおはや〕

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ6 旅先でタイクツな思いをする。

マ7 彼の経歴のサシヨウが暴かれた。

マ8 年長者の前ではイシユクすることが多い。

〔1〕待屈	〔2〕怠屈	〔3〕退屈
〔1〕詐称	〔2〕詐証	〔3〕詐唱
〔1〕威縮	〔2〕委縮	〔3〕違縮

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる漢字が入ります。また、同じ解答が複数箇所に書いてある場合はすべて誤りとします。

記5 感染症対策の現状にケイシヨウを鳴らす。

記6 前任者の方針をケイシヨウすることになった。

記7 交通事故にあい、ケイシヨウを負った。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの選択肢からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

記8 隠微
記9 悠長
記10 失意
記11 逸材
記12 浅薄

【語群】

ア. 追悼 イ. 覚醒 ウ. 深遠 エ. 拾得 オ. 凡才
カ. 顕著 キ. 濃厚 ク. 性急 ケ. 落胆 コ. 短縮

第6問 次の慣用表現の空欄に入るもっとも適切なものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ9 頭角を「 」

〔1〕しめす 〔2〕あらわす 〔3〕かくす 〔4〕ならす

マ10 掌を「 」

〔1〕引く 〔2〕開く 〔3〕振る 〔4〕返す

マ11 「 」に乗る

〔1〕画 〔2〕面 〔3〕図 〔4〕点

第7問 次の語句の意味としてもっとも適切なものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ12 憂き身をやつす

〔1〕将来の見通しが立たず不安になること 〔2〕世間的に落ちぶれること

〔3〕身が細るほど熱中すること 〔4〕なんとなく気分が晴れないこと

マ13 奇をてらう

〔1〕周囲の人から恐れられること 〔2〕人前で恥しい思いをすること

〔3〕変わったことをして人目をひくこと 〔4〕不都合をごまかそうとすること

マ14 面従腹背

〔1〕背に腹はかえられないこと 〔2〕うわべだけ従うように見せかけること

〔3〕どんな命令にも素直に従うこと 〔4〕面と向かって相手を非難すること

第8問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもっとも適切な漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することは認めません。

記 13 ライバルの「 」を明かすことを夢見ている。

記 14 大役を無事に果たして「 」の荷が下りた気分だ。

記 15 旧知の友人の近況をふと「 」に挟むことがあった。

第9問 次の傍線部のかなづかいが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ 15 澄んだ**鼓**(つずみ)の音が響く。

マ 16 **大通り**(おおどおり)に添って商店が並んでいる。

マ 17 この国の**王朝**(おおちょう)の歴史を学ぶ。

第10問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものがありま
す。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなけれ
ばマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、
叙述の内容が実社会の現実と合っているとはかぎりません。

マ 18 専門書は高価である。この書物は専門書ではない。ゆえにこの書物は高価ではない。

マ 19 この患者が歯科を受診するのはいつも火曜日だ。今日は火曜日だ。ゆえに今日、こ
の患者は歯科を受診する。

マ 20 看護学生は高齢者の対応が巧みである。高齢者の対応が巧みな学生は就職に有利で
ある。ゆえに看護学生以外の学生は就職に不利である。

第11問 次の文と論理的に同じ内容とならない文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク
欄をチェックしなさい。

【注】叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを問うものではありません。

マ 21 県南地域にあるこのクリニックは自由診療を導入している。

「1」 自由診療を導入していないクリニックがあれば、それは県南地域ではない。

「2」 県南地域以外のクリニックはすべて自由診療を導入していない。

「3」 県南地域のクリニックはすべて自由診療を導入している。

第12問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

病人を看護してきた私の経験のすべてが語る、動かしようのない結論がある。それは、新鮮な空気について病人が求める二番目のものは、陽光をおいてほかにはないということである。すなわち、病人を最も害する部屋は、閉め切りの部屋について暗い部屋なのである。しかも病室に欠くことのできないその光とは、直接射しこむ太陽光線なのである。もしも事情が許すならば、患者を太陽がかけた部屋にそのまま寝かせておくよりも、陽光を追いかけながら、建物の向きに応じて部屋から部屋へと患者を移したほうがよい。そんなことをしても、どうせ効果は気分的なものだけだと人びとは軽く思っているが、そんなことは絶対にない。太陽は、たんに光で描く画家であるばかりでなく、物質に働きかけて造りかえる彫刻家でもある。太陽が光で描き、乾板^{ドライプレート}を感光させて写真をつくることは、誰でも知っているではないか。あえて科学的に説明するまでもなく、太陽の光線が人間の身体にも、眼にもはつきり見える実質的な効果をもたらすことを、私たちは認めなければならない。しかもこれがすべてではない。陽光が、とくに直射日光が、室内の空気を浄化する作用に気づいた経験のない者がいるだろうか？ 雨戸を閉め切った（病室や寝室の雨戸はけっして閉め切りにしてはならない）空部屋^{あき}へ足を踏み入れたとき、人間の呼吸で汚されたはずのないその部屋の空気が、息づまるほどカビくさく腐敗していることに気づく、こんな経験を誰もが持っているはずである。これはすなわち、その部屋の空気は、太陽光線の浄化作用を受けていなかったのである。事実、暗い部屋や、部屋の片隅などにカビがはえることは、誰もがよく知っている。太陽の恵みをいっぱいを受けて、部屋が明るく快適なこと、それは病気の治療に欠かせない条件である。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳 現代社

マ22 〃 27 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

- マ22 直射日光により室内の空気が浄化されることを、だれしも経験しているはずである。
- マ23 陽光は、画家ばかりでなく彫刻家に対しても働きかけをおこなうものである。
- マ24 陽光が差し込む部屋へと患者を次々に移すことによる効果は、気分的なものである。
- マ25 病人にとって最も害となる部屋は暗い部屋であり、次いで換気の悪い部屋である。
- マ26 病室に欠かすことのできない陽光は直射日光である。
- マ27 雨戸を締め切った空部屋は、呼吸によって汚された時期の空気が残ってしまっている。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

保健医療分野では、どんな年齢層が何人、特に妊産婦や授乳している女性が何人か、五歳以下の子どもは何人かを初期に調査しますが、最大の問題は健康状態の把握です。難民集団は、明らかに健康な大多数の人と明らかに病気の少数者からなるのではなく、ほとんどの人は何からの不健康を抱えています。そして、① しています。配布食糧が足りず、その内容や質が不適切で子どもの栄養失調が解消しない、安全な飲み水が確保できないために下痢が流行りつづける、何度も妊娠分娩を繰り返すこともあって女性のほとんどが貧血状態にある、熱帯特有の寄生虫やマラリアなどの原虫感染症があったりするような事態でした。

私は、予防接種拡大計画(Expanded Programme on Immunization EPI)と母子保健(Maternal and Child Health MCH)を担当しました。あれもこれもなすべきことは山積していますが、どの難民キャンプや途上国の貧困地域でも、これらは「ア」が高い活動です。

感染症対策に予防接種を行うのは当たり前ですが、難民キャンプのそれは、日本の予防接種とはまったく異なります。「a」病院や保健所も電気もないところでは、一定低温で保存しなければ効果を失うワクチンをどう安全に移送保存するかから始めねばならないからです。

WHO(世界保健機関)とUNICEFは、一九七〇年代に、日本の冷蔵冷凍宅配便のようなコールド・チェインとよばれるシステムを作り、新たな難民集団が生じると、まず、コールド・チェインを設立しました。ワクチンは、短時間でも高温にさらされると効力を失いますので、コールド・チェインの管理はとても大変でした。「b」、難民キャンプや遊牧民を含む住民は一定地に定住していません。日本の常識で判断すると、何といい加減なと思うかもしれませんが、大事なことは予防接種率を上げて、防げる病気は流行らせないことでした。

日本ならあり得ない状況の中での努力ですが、例えば人口推計は、一定集落ごとに一軒を選び、大人何人、子ども何人かを調べます。次に集落内の戸数を数え、おおよその人口とします。それをもとに必要なワクチン量、注射器その他の必要物品を用意します。どこで、いつ、予防接種を実施するか決め、ワクチンを発注しますので、計画を実践するまでには最低半年から時には一年かかります。ですから、計画時と実施時には、② のです。

そんな中で、最低でも子どもの八〇％に予防接種を「徹底する」ことを目指しました。徹底とは、当時、二度三度の接種が必要なワクチンを使っていたからですが、三回の接種をまっとうした子どもの数をグラフにして、皆、意気を保ったものです。ある地域では一日に何百人も予防接種できた反面、百何十キロも走って着いた難民キャンプなのに予定の一〇％以下の数……と、泣きたくなるような日もありました。「c」、病気が流行っているからではなく、流行らせないために、すべての子どもを対象に予防接種をすることが目的です。しかし、四五度の炎天下も含めて駆けずりまわった結果、二年間の成果が高々推定子ども数の六〇％以下で、がっかりすることもありました。

当時の予防接種では、結核、ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風と麻疹(はしか)の六種を、同時に接種しました。このやり方も日本などとは大違いですが、何度も子どもを集め

る、あるいは訪問することの難しさと公衆衛生的に問題がないとされていたことから、当時は広く用いられていました。

六種同時の予防接種はAバンザツで、思った成果が得られないこともあって、しだいに緊急事態下では、最も頻繁にアウトブレイク（大流行）が起こる麻疹だけを対象とするようになりました。また、注射ではなくシロップ投与のポリオは、世界的なポリオ対策によって、「イ」された地域が増えたので、今では、ごく限定的に行われています。

「d」、UNICEFの報告では、現在でも、毎年、世界で推定約二〇〇〇万人の子どもたちが、受けるべき予防接種を受けられておらず、その原因は主に紛争であるとしています。私が従事した一九八〇年代から九〇年代にかけての紛争地の難民集団での経験は、やや形を変えてはいますが、今でも子どもへの支援では、予防接種が変わらずに行われていると思います。

子ども以外の予防接種では、女性への破傷風の予防注射がありました。実際、新生児破傷風を経験することは途上国でも稀でしたが、先進国ではあり得ない状況で新生児や産婦が命を落とすことを防ぐために、妊娠可能な女性への予防接種が行われました。私が働いたペシヤワール付近を含め、アフガンの人々は伝統文化を固く守るのですが、生理が始まった女性は大人になったとして、身内以外の男性に接するのを控えることは当たり前でした。ですから、思春期は結婚適齢期であると同時に、一家の外に出たり、身内以外の男性に接したりはご法度ですから、まして見ず知らずの男性から注射を受けるなど考えられないのでした。一族や地域の男性長老、難民キャンプではリーダーに私は説明し続けました。B偏見のない言い方ですが、「あなたのオトコの孫が死なないように」とか、「お嫁にいったあなたの娘がお産で死なないように」などの説得が効果的でした。

三〇年経った今では、紛争の質が変わってきています。援助のプロ中のプロでもある赤十字団体や国連の緊急援助専門家でも、入っていけない複雑な紛争地が増えています。結果として、そのような地域から逃げ出すこともできず、本当に助けを必要としている人々がどれくらい存在し、どんな状態か、例えば現在のシリアなどを考えると「ウ」気持ちになります。

私が難民キャンプ支援活動に従事したのは、医学部を卒業して二〇年以上たってからでした。小児科医として血液疾患や新生児医療に従事した十数年も、それと並行しながら臨床検査医学に没頭した十数年も、充実した臨床、研究生活で、それなりに成果を出せていたと思います。つまり、一人前の小児科医と「エ」していましたが、難民キャンプの仕事はスムーズではありませんでした。日本の医学部で学んだこと、日本やアメリカの施設で経験した臨床実践や研究とはまったく異質でした。

小石がごろごろした土砂漠に延々と広がる難民テント、土の家、粗末な診療所……③、と悩みました。自宅や事務所に電気はありましたが、停電は日常的、そして最高気温五〇度以上、夜な夜な銃声が響くなかで、「オ」としました。国連など支援者との打ち合わせ、

現場の視察はきちんとこなしましたが、着任以来の数ヶ月、難民支援仲間と何かしっくりいかないことが多く、語学力のせいかと悩みました。

ある夜、うとうとと悩んでいる折、はっと気がつきました。仲間たちは「集団」としての人々の「健康」を診ているのに、私は一人の肺炎あるいは下痢の子ども、栄養障がいの一の子どもの「治療」を考えていたことに気づきました。仲間も私も、難民の健康を守ろうとしているのは同じですが、集団と一人の違いに気がつきました。後にこのことを説明するのに、同じスポーツだけど、野球とバレーボールはルールが違う、皆が野球をしているグラウンドに、④と説明しています。

私は仲間がよって立っていた公衆衛生Ⅱパブリックヘルスを学びたいと思いました。間もなく五〇歳が目の前でしたが、ジョンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院特別研修生として受け入れられました。ジョンズ・ホプキンスでは、幸運なことに、当時も今も世界の保健協力の基礎であるプライマリーヘルスケア（PHC）を提唱したカール・テラーとそのグループの教授たちにめぐり合いました。

（中略）

パブリックヘルスを学んだ後、さらにたくさんの上国、紛争地に関与しました。それらのいづこでも、医療施設は著しく不備でした。しかし、そのようなところでも子どもは生まれ、人々は暮らし、そして亡くなっています。医師がいない、病院がないところでの人々の健康はどうなっているのでしょうか。そして気づいたのが医師以外の保健専門家たちの貢献、特に看護師たちの活動でした。よくよく見ますと、日本の看護師のように、チミツ看護でないことも多く、また教育訓練も不備なところもありました。それでも基礎的な保健知識を持った保健専門家としての看護職が存在するところでは、かなり人々の健康に関する悩みは解消されているように見えました。

齋藤英彦編『医の希望』（岩波新書 赤新版1765）所収、
喜多悦子「紛争被災民支援と超高齢社会のプライマリーヘルスケア」より（一部省略）

記16 傍線部Aの「ハンザツ」を漢字で正確に書きなさい。

記17 傍線部Cの「チミツ」を漢字で正確に書きなさい。

マ28 空欄 ① に入る最も適切なものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕 その原因はほとんど解決
- 〔2〕 少数の不健康な者を特定
- 〔3〕 何もかもが不十分で不足
- 〔4〕 大多数の健康な者を除外

マ 29 空欄 ② に入る最も適切なものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェ
ックしなさい。

- 〔1〕 再び調査が必要になる
- 〔2〕 ワクチンの種類が変わっている
- 〔3〕 慎重に無駄を防げる
- 〔4〕 また差が生じている

マ 30 空欄 ③ に入る最も適切なものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェ
ックしなさい。

- 〔1〕 この貧しい施設をどうしたら快適にできるか
- 〔2〕 私はいつまでこんなところにいなければならないのか
- 〔3〕 日本やアメリカの恵まれた施設にいればよかった
- 〔4〕 ここで私は何をするのかではなく何ができるのか

マ 31 空欄 ④ に入る最も適切なものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェ
ックしなさい。

- 〔1〕 私はバレーボールを持っていったのだ
- 〔2〕 野球でもバレーボールでもない第三のスポーツが求められていた
- 〔3〕 バレーボールしか知らない私は入れなかった
- 〔4〕 スポーツを楽しむ余裕のない私がひとりで立っていた

マ 32 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを以
下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- | | | | | | |
|-----|---------|--------|----------|--------|--------|
| 〔1〕 | 〔ア〕 蓋然性 | 〔イ〕 壊滅 | 〔ウ〕 不憫な | 〔エ〕 認知 | 〔オ〕 鬱々 |
| 〔2〕 | 〔ア〕 必要度 | 〔イ〕 撲滅 | 〔ウ〕 暗澹たる | 〔エ〕 自負 | 〔オ〕 悶々 |
| 〔3〕 | 〔ア〕 優先度 | 〔イ〕 滲透 | 〔ウ〕 痛惜なる | 〔エ〕 認識 | 〔オ〕 浪々 |
| 〔4〕 | 〔ア〕 重要度 | 〔イ〕 排除 | 〔ウ〕 漠々たる | 〔エ〕 自覚 | 〔オ〕 切々 |
| 〔5〕 | 〔ア〕 必然性 | 〔イ〕 一掃 | 〔ウ〕 寂寥たる | 〔エ〕 誇示 | 〔オ〕 累々 |

マ 33 文中の「 a 」から「 d 」に入る最も適切なものを以下からそれぞれひとつずつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。同じ語の重複使用は認めません。なお、使用しないものがひとつあります。

マ 33	「 a	」
マ 34	「 b	」
マ 35	「 c	」
マ 36	「 d	」

「1」しかし 「2」だから 「3」いずれにせよ 「4」なぜなら 「5」そのうえ

記 18 傍線部Bで、筆者は「あなたのオトコの孫が死なないように」とか、「お嫁にいったあなたの娘がお産で死なないように」などと説得することを「偏見的な言い方」としているが、それはなぜか、具体的に説明しなさい。解答は、五〇文字以上、七〇文字以下の一文で記すこと。句読点も一字分とします。冒頭の一字下げは不要です。